

社会福祉法人大喜福社会

法人理念

- 一、地域に根ざした施設づくりに努める。
- 二、介護を実践し品性を高め責任ある行動がとれる、人間の育成に努める。

令和4年度 喜楽苑 重点目標

長引くコロナ禍において、業務内容・行事・会議・職員への慰安等の転換期を迎えている。生産性を上げるため、省けるものは省き、職員への負担軽減策を講じる。

感染症対策は緩くなると、利用者は基より自分達をも苦しめる結果となる。勉強会などにより意識付けを常日頃より心掛ける。

情報発信を継続し、まずは知ってもらうことが重要である。アイデアを駆使しあらゆる方面から当法人の強みをアピールする。

1、業務改善に努め、生産性を上げる。

仕事出来る職員は生産性を上げるため、改善意識を常に持っている。将来的には、地域の人口減による職員の確保は一層厳しくなると鑑みると、生産性を上げることが大事となる。

出来るだけ無駄な業務は省き、ロボット・ICTに置き換えられるものは変えていく。

余裕ある業務でストレス貯めることなく働ける職場環境を整え、笑顔で介護を提供する。

2、感染症対策を徹底し罹患者ゼロを目指す。

罹患すれば、体力のない利用者は一気に体調を崩し、辛い思いをすることとなり、職員にも精神的ダメージとなる。経営面でもサービスの休止や制限などで悪影響となる。

感染症対策を常日頃から意識付けするため、勉強会やフィードバックを繰り返し行う。俊敏な対策を図るため衛生用品の在庫は常時確保し、危機に備える。

3、地域に情報発信し、ブランド力を高める。

人材獲得競争は厳しくなる一方であり、対策強化が止むを得ない。当法人で当てはめると、強みである地域貢献活動、働きやすい環境、ユースエール企業等を積極的にアピールする必要がある。

ホームページ・SNS・広報誌・地元紙・映像広告等で情報発信を続けブランド力を高め、人材獲得策を講じる。

令和4年度 社会福祉法人大喜福社会 喜楽苑
部 署 目 標

【 従来型 】

『人にも物にも思いやりを持ち整理整頓』

- 生活しやすく、働きやすく、心安らぐ環境を整える
- 入居者の居室、タンスの整理整頓をする
- 5Sに取り組み業務改善、生産性をあげる

【 ユニット 】

1. 業務についての改善意識を持ち、提案できる職員になる
2. 感染症対策についての勉強会を行い、予防の徹底を図る
3. ホームページにイベントの様子など掲載し選ばれるユニットホームになる

【 医務室 】

1. 基本的感染対策を実践し罹患者ゼロを目指す
2. 個々のパフォーマンスを上げ、効率的かつ質の高い看護を提供する

【 調理 】

1. 栄養マネジメントの強化を図る
2. 口から安全に食べるための取り組みをする
3. 食事の情報を発信する。

【 事務室 】

1. 仕事の効率化を図る
優先順位を考え、時間を管理する力を身につける
2. 心も体も健康に
休暇取得やウォーキングコースを活用し、心と体と健康増進に努める

【 小規模多機能 】

「家族も安心在宅生活」

1. 情報を共有し、家族・スタッフと協働しサービスの質の向上に努める
2. 自宅で、栄養価のある食事ができるよう食支援に努める
3. コロナ感染状況を踏まえ、地域行事に参加し地域の一員として在宅生活を送れるよう支援する

【 通所介護 】

『安心・安全・効率を図る』 ～多職種連携で寄り添う介護～

【 訪問介護 】

1. 利用者の状況の変化に気づき、家族や多職種と情報共有して早めの対応を行う
2. 職員間で会話を密にとり、体を動かしたり好きな事をして気分転換をする

【 居宅介護 】

1. 利用者との信頼関係を高める
個々の業務を見直し、改善を図り、誠実な態度で相談対応をする
2. 安心できる在宅生活を支える
他事業所との連携、連絡を密に行い、サービスの質の向上、効率的な提供を目指す

【 包括支援センター 】

1. 業務を効率よく進めるため、チームで協力し対応する
2. 日頃から感染予防を念頭に行動する
3. 地域への関わりを深め、様々な情報を発信する